

デンマーク : Danmarks digitaliseringsstrategi (デンマークデジタル化戦略)

都市概要

国名/都市名 デンマーク

人口 約598万人 (2024年10月時点)

各種デジタル
ランキング上
の位置づけ

- ・「早稲田大学世界デジタル政府総合ランキング」
2024年度：3位、2023年度：1位
- ・「IMD世界デジタル競争力ランキング」
2024年度：3位、2023年度：4位


社会情勢・
インフラ・
文化

- ・デンマークはワンスオンリー施策を先進的に行っている国で、住民登録システム (CPRシステム) に登録された情報は自動的に税務署、社会保障機関、郵便サービス等に共有され、住民手続きが簡素化されている。
- ・中小企業向けの施策も進んでおり、企業が納税手続きを行う際も、一度の申請で税務データが関係省庁間で共有され、煩雑な書類提出が削減されている。



デンマーク : Danmarks digitaliseringsstrategi (デンマークデジタル化戦略)

事例概要

所掌組織	<p>【戦略策定】</p> <ul style="list-style-type: none">デジタル化庁 分析政策局（財務省が管轄） <p>【評価機関】</p> <ul style="list-style-type: none">デジタル化協議会（民間企業・労働組合・自治体の代表者から11名が任命。） <p>なお、実施計画や評価基準は記載されていない。</p>	
取組概要	<ul style="list-style-type: none">デンマーク政府が、2022年から2026年にかけてのデジタル開発の次のステップに向けた 9 つのビジョンを規定したデジタル戦略。9 つのビジョンに対し、Strategic Action（戦略的行動）、Initiative（新たな取組）を策定。Initiativeは計61つ明記されており、政府として投資する分野や金額、開発を進めるアプリケーション、中小企業・市民に向けた支援策なども詳細に記載されている。ビジョン 2「人々と企業のための一貫したサービス」、ビジョン 4「成長の加速とデジタル中小企業」、ビジョン 7「強力で倫理的かつ責任あるデジタル基盤」では、政府デジタルサービスを住民・企業が容易に利用できる環境を整備するための取組がまとめられおり、ワンズオンリー・サービスコネクテッドを達成するためのビジョン及び具体的なアクションを示している。	
沿革	<ul style="list-style-type: none">2021年10月 デンマーク政府デジタル化パートナーシップは、デンマーク社会でデジタル技術の可能性を活用するための46の提言を発表。2022年5月 これらの提言に基づき、デンマーク政府は国家デジタル化戦略を発表した。2022年から2026年にかけて戦略実行期間。 <p>※デンマーク初の国家デジタル戦略。それ以前は政府・基礎自治体のデジタル化方針を定める「公共部門共同デジタル化戦略」が最上段の戦略とされていた。</p>	
参考 出典	<ul style="list-style-type: none">取組概要・所掌組織・沿革、デンマークデジタル化庁、https://en.digst.dk/media/mndfou2j/national-strategy-for-digitalisation-together-in-the-digital-development.pdf、2025-02-14	

デンマーク : Danmarks digitaliseringsstrategi (デンマークデジタル化戦略)

調査内容

背景

- 2000年初頭にデジタル国家を掲げたデンマークでは、政府、地方自治体連合（KL : Kommunernes Landsforening）、広域圏連合（DR : Danish Regions）が参画する電子政府委員会を組成し、2002年に初の「公共部門共同デジタル化戦略」を策定した。
- この「公共部門共同デジタル化戦略」は約5年おきに見直され（現在は第6版）、主にデンマーク公的セクターのデジタル化戦略を策定し、病院や教育機関等も対象に、実行がなされている。また、公的セクターに留まらず、民間企業・市民団体との連携も求められており、社会全体を横断して戦略に基づく計画の実行が進められている。
- 一方で、「公共部門共同デジタル化戦略」は、最新インフラの整備と行政サービスの連携に重きを置いてきたが、インフラや市民サービス以外におけるデジタル化の方針は定まっていなかった。
- そのため、デジタル化パートナーシップ（政府、地域連合、自治体連合、民間企業、市民団体、研究者からなる有識者会議）の46項目の政策提言を参照し、グリーントランスフォーメーションや労働力不足といったデジタルが絡む社会的課題に対する新たな「視点」を設け、社会全体に対するデジタル化戦略を新たに示した。

目標

- デンマークのデジタルリーダーシップを維持する

予算

デスクトップリサーチでは詳細不明

人員体制

- 財務省の戦略担当部署が原案を作成（具体的な人数は不明）。

参考 出典

- 背景、一般財団法人 自治体国際化協会 Clair Report No.445、<https://www.clair.or.jp/j/forum/pub/docs/445.pdf>、2025-3-18
- 目標・人員体制、デンマークデジタル化庁、<https://en.digst.dk/media/mndfou2j/national-strategy-for-digitalisation-together-in-the-digital-development.pdf>、2025-02-14

デンマーク : Danmarks digitaliseringsstrategi (デンマークデジタル化戦略)

調査内容

目次構成

1. 序文

ビジョン：デンマークのデジタルリーダーシップを維持する

2. デンマークにおけるデジタル開発

① デジタルのパイオニアとしてのデンマーク

② デジタル化パートナーシップ

③ デンマークのデジタルの発展の次のステップ

④ 5つの原則

－デジタルは、すべての人に利益をもたらし、成長を促進し、競争力と生産性を支えなければならない

－デジタル開発は、セキュリティ、責任、倫理に焦点を当てる必要がある

－デジタルな進歩は、公共部門と民間部門の協力によって実現される必要がある

－公共データは、成長とイノベーションに貢献する共通の財産である

－デンマークは、グローバルなデジタル開発を形成する必要がある

⑤ デジタル化協議会

3. 9つのビジョン

① サイバー・情報セキュリティの強化

② 市民と企業のための一貫性のある公共サービス

③ テクノロジー活用の拡大による中核業務への時間確保

④ 成長性の高いデジタル中小企業

⑤ 未来のデジタルヘルスケア

⑥ デジタルソリューションによるグリーントランスフォーメーションの加速

⑦ 倫理的で責任感のある強固なデジタル基盤

⑧ 国際的なデジタル化の中心にあるデンマーク

⑨ デンマークの人々は、デジタルの未来に備える

4. 2022-2026年のデジタル化戦略における取組の概要

9つのビジョンに紐づく、計61のInitiativeを記載



デンマーク : Danmarks digitaliseringsstrategi (デンマークデジタル化戦略)

調査内容

VISION②の概要

「VISION② 市民と企業のための一貫性のある公共サービス」では、国民の20%とされる認知や身体障害、デジタルスキルや言語スキルの欠如などを抱え、デジタル社会で困難を感じている市民、及びビジネスと公共部門を繋ぐデジタルゲートウェイ「Virk」を使用する中小企業のデジタル体験を向上させることを目的としている。

■ 【Strategic Action (戦略的行動)】

- I. デジタルに苦手な市民を巻き込むための取組を強化し、支援やガイダンスを通じてサポートを行う。また、他者にデジタルで代理行使する権限を簡単に委任できるようにする。
- II. 福祉分野全体でのデジタル連携を、デンマーク当局や分野を横断するデータ共有の改善によって実現する。
- III. 市民が自身のデータをデンマーク当局と共有する許可を簡単かつ信頼できる方法で行えるように、公共当局への同意の付与や撤回を容易にする。
- IV. デジタルセルフサービスソリューションのターゲット開発、ウェブサイト「borger.dk」における特定の情報とガイダンスの提供、デジタルポストの新機能の開発を通じて、デジタルサービスを強化する。
- V. 特に中小企業や個人事業者が公共部門に対する義務や期限を守れるよう支援するため、新たに「MitVirk」アプリを開発する。

■ 【initiative (新たな取組)】

1. デジタルインクルージョン活動の強化
2. データ共有による一貫したケースフロー
3. 簡単で安全な同意管理
4. 簡単で安全な委任状の使用
5. Mit Overblikの開発を通じたサービスの包括的かつ個別化
6. Digital Postを通じたサービスとコミュニケーションの改善
7. Mit Virkアプリによる要求と期限の遵守支援

デンマーク : Danmarks digitaliseringsstrategi (デンマークデジタル化戦略)

調査内容

VISION②の initiativeの詳細	<p>■ VISION2のInitiative概要</p> <p>1. デジタルインクルージョン活動の強化 公共サービスに誰もがアクセスできるよう、市民に支援とガイダンスを提供し、補助者には適切なツールを供給して全市民が安全にデジタルサービスを利用できるようにする。</p>	<p>■ VISION2のInitiativeの進展状況、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 2024年に「デジタルインクルージョンの原則」を定め、全ての国民がアクセスしやすいデジタル環境を整備するためのツール、資料、事例を紹介。 2023年に中央省庁、地方自治体を包括するデジタルインクルージョンのための政府ネットワークを設立し、知識と経験を共有している。
	<p>2. データ共有による一貫したケースフロー 適切な医療サービスを受けられるよう、自治体、医療部門、中央政府当局を跨いでデータ共有を改善し、法的枠組みを明確にし、障害を解消する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2022年にAalborgコミュニティとNordjylland地域にて、共通の地方自治体アーキテクチャを使用して、医療データ共有の改善を目指したパイロット試験を実施。
	<p>3. 簡単で安全な同意管理 市民が公共当局間でのデータ共有同意を簡単かつ安全に行えるように、同意ソリューションの開発と共通標準、一貫した同意インフラを確立する。</p>	<p>— (進展は調査できず)</p>
	<p>4. 簡単で安全な委任状の使用 デジタル委任状の共通標準とインフラの確立を行うことで、委任状の付与と受理を容易にし、行政サービスへのコンタクトを容易にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2023年に「MitID」を用いたセルフサービスを使用して「Borger.dk」上でデジタル委任状 (Digital fuldmagt) を発行可能となった。

デンマーク : Danmarks digitaliseringsstrategi (デンマークデジタル化戦略)

調査内容

VISION②の initiativeの詳細	<p>■ VISION2のInitiative概要</p> <p>5. Mit Overblikの開発を通じたサービスの包括的かつ個別化 Mit Overblikを個人に合わせた情報とガイダンスを提供できるよう拡張し、政府と市民間で情報を共有し、取引を一元化し、市民にあったサービスを提供する。</p>	<p>■ VISION2のInitiativeの進展状況、成果</p> <ul style="list-style-type: none"> • Mit Overblikへのログイン後、表示される情報が住民個人ごとに異なる情報が提示されるように変更した。 • 一方、2025年現在で、自身の子供に関する情報を確認することはできず、今後更改予定である。
	<p>6. Digital Postを通じたサービスとコミュニケーションの改善 公共部門とのコミュニケーションやインタラクションを容易にするため、Digital Postを作成し、市民が直接行動できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • デンマークでは、2025年末に公的な手紙配送サービスを終了すると発表。現在、婚姻届の確認状など一部の公的サービスはDigital Postを介してやり取りができないため、全ての行政サービスがDigital Postに移行されるとの見込みがある。
	<p>7. Mit Virkアプリによる要求と期限の遵守支援 Mit Virkアプリにより政府から通知を受け取ることで、中小企業は各手続きのやり取りを簡略化、期限遅れによる罰金リスクの最小化でき、同時に、政府はリマインドに費やす時間を削減できる。</p>	<p>— (進展は調査できず)</p>

参考
出典

- VISION②のInitiativeの詳細、デンマークデジタル化庁、<https://digst.dk/>、2025-03-19
- VISION②のInitiativeの詳細、デンマークデジタル政府局、<https://en.digst.dk/digital-services/borgerdk-national-citizen-portal/mit-overblik/>、2025-03-19

参考：デンマークが提供するデジタル行政サービス

調査内容

個人番号



■ CPR (Det Centrale Personregister)

- 1968年に導入された10桁の個人番号。氏名、住所、誕生日、電話番号、出生地などが結びつけられている。
- 社会保障や税の管理等で使用する他、病院の診察、銀行口座開設などで求められる。

ログイン



■ MitID

- 2021年に導入されたデジタルID。住民がデンマーク当局の提供するデジタルサービスを受ける際に必要となる。
- 2010年に導入された「NemID」の後継として設計され、より高いセキュリティと柔軟性を提供可能。

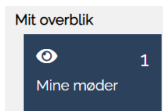
ポータル
サイト



■ Borger.dk

- 2007年に公開された政府・地方自治体の情報を一元化し、行政サービスを提供するポータルサイト。
- 手続の進行状況、対応すべき事項・期日などが閲覧可能。

ホームページ



■ Mit Overblik (英名 My Overview)

- Borger.dk上の個人的なホームページ。
- 公共部門が住民について保有している各種情報の一部（所得税、借金、個人情報など）を閲覧可能。

個人ポータル
サイト



■ Digital Post

- 公的機関と国民や企業と安全かつデジタル的に双方向で通信することができる通信インフラ。
- 病院からの手紙、学生助成金に関する情報、デイケア施設の場所の割り当て、中央関税税務局からの手紙などが含まれる。

法人ポータル
サイト



■ Mit Virk

- 2003年に開設された企業向けポータルサイト。企業がすべき各種報告、納税、申請手続きが一元化されている。